
第66回花園大会での 初トライは新潟高!!



あけまして
おめでとーいっしょに
つぎも

青山同窓会会長
鍵 富 清 一 郎

何事につけても二年連続
ことをやり遂げるのは難しい
と言われる。FWの平均体重
は72*という小兵チーム、4
10で新潟工業高を押えて花
園行きのキップを手にするま
での精神的な面でのプレッシ
ヤーも大きかった。それを払
いのけての快挙である。
開幕試合をひき当ても、
有田主将をして「どこと当っ
ても同じだと思ってきた。勝
敗を意識せず、持てる力を出
しきりたい」と言わせるまで
にたくましかった。そして開
幕試合開始直後の初トライ。

皆さんお元気で新春を迎え
られたこととお慶び申し上げ
ます。昨年に引続いてのラグ
ビー部の全国大会出場をはじ
め、学業の面でも、後輩の学
生諸君の活躍にはめざましい
ものがあります。同窓会も後
輩達に負けないように、皆ん
なで力を合わせて、各方面で
がんばりましょう。

新潟高応援団は湧きに湧いた。
第66回花園大会の初トライだ
つたのだ。結果は佐賀10新潟
4だった。
対戦相手の佐賀工業高は、毎
年のように花園にコマを進め
る伝統校。その胸を借りての
本校チームの集中力を結集し
てのトライ。昨年初出場を果
たし、二年目にワントライ、
三年目は念願の一勝……。
良い伝統が築かれつつある。



大山君の初トライ直前 <新潟日報社提供>

二年連続出場にも拘らず花
園大会出場募金は関係各位の
熱烈なご支援を賜り、所期以
上の成果をおさめることがで
きました。
同窓会、PTA、学校三者
による募金活動で、全体約九
百万円余のご援助をいただき
ました。

ラグビー部二年連続花園大会出場募金御礼



東京青山同窓会 鏡開き

ラグビー部も皆様の暖かい
援助と激励によって、心おき
なく第66回花園大会で活躍す
ることができました。
とりあえず、会報を通じま
して同窓会会員各位に厚く御
礼申し上げます。
同窓会会長 鍵富清一郎

東京青山同窓会総会

昭和61年度の総会は10月29
日午後6時から、新潟より鈴
木校長先生、上杉先生、事務
局長岩田さんの三方を迎え、東
京大手町のサンケイホールで
盛大に開催された。

まず南学会長(40回)のあ
いさつ、田中幹事長(43回)の
が会計幹事交代を報告、斎藤
名誉会長のメッセージ(後記)
を披露した。ついで鶴巻事務
局長(70回)から職業別同窓
会名簿の制作についてのお願
いがあり、来賓を代表して鈴

木校長先生から母校の近況に
ついてのあいさつを頂戴し
た。

東京総会へのメッセージ

東京青山同窓会名誉会長
(経団連会長) 36回 斎藤英四郎

当日は日豪経済合同委員会
で大阪出張のため残念ながら
出席できません。
私は人から「人生何が一番
大切か」と聞かれると、「まず
健康であること」と答えるこ
とにしています。
心身ともに健康で、そして、

懇親会は鏡開きの後、最長
老佐藤岩男(33回)さんの乾
杯の音頭で賑やかな幕明けと
なった。恒例となったジャン
ボジャンケン大会、新旧校歌
応援歌の合唱など、和気あい
アイのうちに8時半散会とな
った。

も樂觀的であること、希望を
失わないことが肝要だと思っ
ています。
私はこの十年来「明るさを
求めて暗さを見ず」というこ
とを会社経営のモットーとし
てまいりましたが、皆さんに
も是非お勧めしたい言葉であ
ります。
素晴らしい故郷を思いつつ
本日の東京青山同窓会の開催
をお祝い申し上げます。
東京青山同窓会 鏡開き

青山同窓会
会報

発行所/青山同窓会
〒951 新潟市関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL025-266-2131
編集、発行人/上村光司
印刷所/オリオン印刷株式会社
〒950 新潟市南出来島1-19-1
TEL025-283-2151
FAX025-283-3804

61年度総会を振り返って

総会実行委員長

64回 小田嶋 寿一

正に晴天の霹靂、60回の小林享名実行委員長の後任を仰せつかり、何も分らぬままに同窓会総会が参りました。これに至るまでの実行委員会や幹事会での打ち合わせを通じ上村光司副会長、小林先輩他多数の皆様からご指導を頂き当日を迎えた訳ですが、何しろ今迄はなにげなく総会に出席していたので、まごつくば

いたにも拘らず、思い返してみると反省点ばかりで残念な思いです。会場の割り振り、料理・飲物、若手OBの参加が少ない等、今後に課題を持ち越した感で一杯です。運営について、多くの方々からご意見を聞かせて頂ければ幸いです。

また東京青山同窓会から、南学会長他2名の幹部の方々にご出席を頂き御礼申し上げます。

小林前実行委員長からは、できるだけ多くの方に出席して頂けるようお願いの意にすべくこの方向でご指導を頂



かりでした。でも諸先輩並びに学校教職員の青山OBの先生方、事務局の岩田さんらに一から十までオンブにダッコで無事？総会を終了することができました。とりわけ学校の側のOBの皆さんには会場設

39回 市島智三郎君の受賞

39回 福山 健

昨、61年6月29日東京岸記念体育館に於て市島君(旧姓高沢)は、日本バドミントン界の最高栄誉賞である「本田賞」を授賞された。

新中在校当時中川巨漢さんに尻たたかれながら我ががどうやら尻上りをやっていた頃、彼はどこで習っていたのか大車輪などを軽々とやってみせた。中背で口数の少い美少年だった。新中卒業後は大方の



盛り上がりしました。次回はあるべく早目にご案内致しますので、何卒沢山の方にご参加頂きたく存じます。



昭和16年7月応召、ソ連国境等の警備につき、終戦後はシベリヤに抑留され、22年1月弱りはた姿で舞鶴に帰還。その後教務の余暇をこのバドミントン競技に打ち込み、昭和24年2月県バドミントン協会創立。その常務理事としてスタートした。以来戦後30余年間本競技の向上の為全力投入、昭和46、52年の6年間、県バドミントン協会々長として県下のレベルアップに尽力した。

今日新潟県が神奈川、大阪などと共に全国的に高い水準にあるのは全く同君の裏方としての努力の結果である。昭和55年4月教育学部での20年間の教務を終え新潟大学の教授を退官後も引き続き同協会の為協力している同君の健在を切に祈る次第である。

ハイティーン水泳 新中・新高◎

60回 平田 大 六(関川村)

18 万代橋から 墜ちた花火客

さて、新潟中学三年生の私

が第一回北日本高校水上選手権大会で入賞したのは、昭和23年8月22日であった。この直後に新潟の「川祭り」の花火見物客が、万代橋の手すりごとわれて、川に墜落死亡するという事故がおきている。

私の大会出場を見物するたれ、母が関川村から新潟へ出て来てくれた。大会を終えた後で、私を連れて花火見物に出かけたのである。

万代橋の上は絶好の見物場所なので、ここに人が集中した。石でつくられた欄干は頑丈そうに見えるものだ。母と私も、その時その場所を通過しようとしていたので命拾いをしたことになる。

本田賞——日本バドミントン協会長本田弘敏氏に因んで作られた賞で、日本バドミントン界の発展に大きく寄与した個人又は団体に与えられる最高の栄誉賞で、昨年の受賞は市島君唯一人であった。

千が落ちたというスピーカーの音があつたと記憶する。母は私の手をつかんで、橋とは反対の礎町の方へどんどん引張ってゆく。私は振り返って花火を見ようとしたが、人の流れにさらされてゆく母の力はすこかった。そして近くの食堂に私は連れられて入った。命拾いをしたのだから好きなものを食えというのだ。アイスクリームという私に、たつたそれだけでよいのかと、母は真剣な顔で言った。クリムソーダではぜいたくだと思つた。箸の先に凍らせたキャンデーを皿に盛つて、テーブルまで持ってきてくれる時代のことだ。早逝した父の顔を知らず、この年の4年前、兄を戦争で失つた私をみる母にとっては当時せつないものがあつたに違いない。今4児をもうけて私はそのことがわかる。……

次の朝、私は万代橋の事故現場を見に行った。濁つた川水の中を、行方不明の人を探すために、数人の潜水夫が作業をしていた。水泳選手の私は、落ちた人は何故泳がなかつたのか、とても不思議だつた。(次号につづく)

鈴木昭二校長 文部大臣表彰を受賞

第33代学部長、鈴木昭二先生が昭和61年度教育功労文部大臣表彰を去る12月26日受けられた。新潟県下高校長ただ一人の受賞であった。先生は、「都ぞ弥生の……」で知られる北海道大学卒業、新潟県の高次教育界に入られ、新潟南高校の前身、新潟市立高校社会科教諭をふりだしに教科指導はもちろん、スポーツ、「スポーツと勉学は車の両輪」

特に野球部の監督として、新潟南高甲子園出場という偉業の礎を据えられた。先生は教育現場だけでなく、新潟市学校教育課長、新潟県教育庁高等学校教育課長という肩書で教育行政にも敏腕をふるわれた。特に昭和58年4月に本校学部長に就任後は、本校の大学進学成績向上に尽され

姿はグラウンドか体育館にあった。自習時間のあるクラスには顔を出して話をする。職員に用がある時は、自ら教務室へ。校長室は灯の消えていることが多いのである。

「教育功労賞を受けるに最もふさわしい校長」という声は、本校教職員全員の一一致した声であった。



県学生科学賞優秀賞に輝く 地学部

新潟高校地学部(代表・折笠仁志)が、昭和六十年度的新潟県学生科学賞の優秀賞を獲得しました。これは、昨年度の生物部の最優秀賞に続くもので、各体育クラブが活躍する一方で、文化クラブの地道な活動が認められたとして高く評価されるものです。

研究テーマは「宇宙線の観測」というもので、時間の変化に伴い宇宙線はどう変化するかを霧箱で写真撮影して調べてみようというものです。一昨年の秋から約一年間、週二回昼休みや放課後をつかい

観測し、データをまとめるという根気のある研究でした。中には、中心的に活動した女子部員もいたとのこと。部員のチームワークの良さもこの成果をもたらした一要因でした。

これからは、更に宇宙線の研究を継続し、地震計を作って地震の研究もやりたいと張り切っています。再び良い結果が出ることを期待します。

県高校スポーツ 最優秀校受賞!!

昭和61年度県高校連年の県高校スポーツ最優秀校に母校が選ばれました。昨年に引続きの受賞で、通算5度目の快挙となりました。

後輩の活躍 各種大会の成績

- ◆地学部 第30回新潟県学生科学賞優秀賞
- ◆第20回新潟県高等学校美術展
 - ・絵画部門入賞 土田博子
 - ・書道部門入賞 中山貞夫
- ◆レスリング
 - ・インターハイ56kg 室賀亮 3回戦敗退
 - ・団体 60kg 室賀亮 1回戦敗退
- ・秋季地区大会 フリースタイル52kg 2位田沢進一郎 同60kg 1位室賀一郎

◆陸上

- ・インターハイ 走高跳4位 横沢美貴
- ・団体 五〇〇米競歩5位 佐藤元
- ・下越地区大会 110米ハードル1位 長岡拓馬 同2位 兼田拓弥 三千里競歩2位 高山隆夫 女子八〇〇米1位 関重弓
- ◆漕艇
 - ・インターハイ 男子舵手付フォア準決勝4着(上田、若松、渡辺、清野、橋本)
 - ・団体県予選 男子ダブルフォア2位 新潟A 同3位 新潟B 男子シン

◆フェンシング

- ・インターハイ 男子団体1回戦敗退 男子フルレ 斉藤1回戦敗退 男子サーブル 宗田1回戦敗退
- ・秋季県大会 団体戦1位 (島田、塚田、渡辺、松本、小林) フルレ3位塚田
- ◆軟庭 秋季地区大会3位 阿部・坂井組 団体選抜地区大会3位
- ◆硬庭 秋季地区大会 男子シングルス2位 鈴木 同

◆柔道

- ・秋季地区大会 中量級1位、全日本ジュニア選手権県予選65kg1位 同北信越大会3位
- ◆サッカー 秋季地区大会1位
- ◆バドミントン 秋季地区大会 男子団体3位
- ◆バレー 秋季地区大会 男子3位
- ◆卓球 秋季地区大会 男子学校対抗3位



本校全職員による祝賀会

を合言葉に、大学進学現役合格率70%(全国高校ベストフアイブ)を達成されると同時に、ラグビー部花園大会出場を実現させる原動力となった。「校長をさがすのならグラウンドへ行け」と言われる程、公務で出張以外は鈴木校長の



思わないうこと・思つたこと

岩野 祐吉

喜寿を過ぎたら、思ひかけもしなかつた蔵書の処分が気になりはじめた。虫ぼしして一括発送したが、どうしても手放せないで連れ戻したのもある。敗戦の証人校本万葉集五巻には未練が残る。次は校異源氏・校本枕かと、書棚を見まわす心中はご推察あれ。その中で研究に苦慮する昨今。

さて私、梅田校長のおはからいで、伝統ある新中・新高に三昔もご厄介になった。その間忘れようとしても忘れられないこと、頑爺さんの新潟幼年学校ではない。梅田閣の掃に露骨で、遂に職員会議で暴力沙汰、離任式が続き騒然たる様。愛知動員で飛行機づくり。大地震・大空襲の中での卒業式、流石と絶賛した青木社長。磯校長は世界の占領政策を調査し、将来を展望

の上、早々と漢文を必修に決めた大英断。通信制が発足し血判の嘆願書も提出。最近学位取得者が出る。天野文相全国講演行脚に本校を訪れ、途中で退散された謎は何か。新校歌の制定で会津、堀口、大和田の三氏に懇願。第九交響曲新潟初演、一五四名を公会堂のステージに迎えた感激。校舍焼失と復興、長谷川同窓会長の苦渋に満ちた表情が眼前に髣髴する。青山の松に映える白亜の殿堂出現、困惑した新潟国体とファンファーレ。地震に感謝された新高生等々、とても四四〇字では記されない。楽しみに昔を語るしかない現在、思い出した「青陵を返せ」と古町でアピールなど後日「私の青山三十年」にまとめ、親愛なる青陵健児の机辺に届けたい。

男子だけの木造校舎の頃から

大橋 禎助

昭和24年から58年まで長い間に亘り、新潟高校に「厄介」になりました。

その後、私立東京学館新潟

高等学校に移り、元気で教鞭を取っております。

私がこれまでやってこられたのは、先生方並びに素晴ら

母校の底力

青川 正敏

終戦の年の10月から20数年にわたる新潟高校在職中の様々な思い出もやがて忘却のなたへ押しやられようとしています。

だが、終戦後の未曾有の混乱、学制改革、校舎の焼失と再建、学園紛争等の画期的な出来事は、今なお記憶に残つ

ています。

これ等の危機に際して、教師、生徒、PTA、同窓会は常に底力を出し一致協力して、「英知」をもって対処し、「古き誇りを新しく」して母校が生々発展するように努力を重ね、青山精神を遺憾なく発揮しました。学業とスポーツに

輝かしい成績をあげている現在の新潟高校に、その伝統が脈々と引き継がれていることはご同慶の至りです。

私事にわたって恐縮ですが、「老兵は未だ消えず」蟻螂の斧のそしりは免れませんが、教育産業の向うを張って寺小屋を設け、一握りの生徒を叱咤激励して「意地悪るじいさん」を地で行っています。これも半世紀にわたる教鞭生活で身につけてしまった「我が悲し

将来の計画

志賀 哲夫

私は、何年前かに学校を辞めてから、公けには何一つ働いていませんので、私の近況について、公けにすべきものはありません。

ただ思い出せば、昔、教室で面々相對した卒業生諸君との間柄は、内輪の間柄とも考えられます。そういう仲間同志のこととして、一つだけ御報告致し、挨拶を送ります。

昭和32年3月に卒業した学年の或る組で、最後の授業の時に、生徒諸君は尋ねました。「先生、将来の計画を話して下さい」。当時は、私の体の具合

集 特 お元氣ですか？ 懐しの先生方の近況

学窓を出て、年を経ると、思い出して懐しいのは、当時の恩師方です。あの先生方は今、どうしておられるのか。思いつくままに、編集部では在職期間中の思い出や近況をおたずねしてみました。寄せられたご返事をここに特集してみました。(順不同)

回想と現況

松田 一郎

昭和25年から42年まで、新潟高校の生物の教師としてお世話になりました。この17年間は、わたしの教員生活の中で最も楽しい期間でございました。

生徒諸君が優秀で、いわゆる打てば響く状態であり、こちららも調子に乗って漫談の

趣味として来たカメラとこのことを今も続けています。おかげで両方の合成になるカラー版のきのこ図鑑を二種類出版することが出来ました。

自然界は無限でございます。珍しい種類を見つけて、リユックから取り出したカメラのアングルの構想を練るとき、老いの胸にときめきを覚えま

さでそれから、凡そ30年を返る。但し、メフィストフェレスの力を借りずに。

さてそれから、

の最も悪い時でした。「俺は若返る。但し、メフィストフェレスの力を借りずに」。

さでそれから、

の最も悪い時でした。「俺は若返る。但し、メフィストフェレスの力を借りずに」。

さでそれから、

の最も悪い時でした。「俺は若返る。但し、メフィストフェレスの力を借りずに」。

さでそれから、

特別寄稿

LOGからの手紙

校内幹事 上 杉 雅 之

昨年2月フィリピンで政変のありました一番激動の数日を当地の市立大学(通称バマタサン大学)の客員講師として滞在し貴重な体験を致しました。

今回はついでに琴のコンサートを国営テレビの一時間番組の他、国立文化センターその他数ヶ所で開催して欲しいとのこと、私の友人、門下生等総勢25名で参加の予定で、半年も前から現代曲を中心に20曲ほど用意し、アンコール用にフィリピン人の民謡、流行歌をそれに国歌などをテープから採譜し、長女(芸大在学中)に琴、十七弦の三部合奏用に編曲してもらったもの10曲程用意し、全員専門家なので立派な演奏が出来ると張り切ってリハーサルも終えていたのですが、大統領選後の政情不安の為出発直前になり次々と辞退者が出て、結局17名が2月21日(金)にまるで私達の貸切りのようながら空きのユナイテッド航空で、十七面の琴、十七弦と共に成田を出発致しました。

22日(土)の大学でのコンサート

外は日航系のマニラガーデン

ホテル九階の一室で不安な気持ちで過ごしました。

23日(日)は学生さん達と一緒にマニラ郊外へ観光に出かけたり、竹のパイオルガンの演奏を聴きにジャスピニアス教会にも出かけたりしました。

24日(月)は朝から国立ノーマルカレッジ(教員養成大学)での演奏のため出かけました。

激動期のフィリピン

アキノ政権誕生を見る

66回 小島春美(旧姓河井)

埼玉県立入間高校教諭 財団法人正統邦楽会大師範

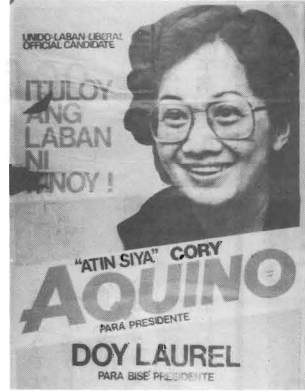
雅号 雅葉

の野外コンサート、これは全曲国営テレビが録画、数日後に放映されるとのことでした。どうなりましたか。

翌日このテレビ局は決り派に占拠され、それまで英語で放送されていたものが、全部現地語のタグログ語になったので、その後ホテルでニュースを見てまさっぱり情勢がつかめず、日中や夜も9時頃迄は大使館の書記官の方や学生さん達が常時一緒にいて下さるので安心でしたが、それ以外

生が来れず、関係者のみ少数の人々の為に数曲演奏して終わりました。

り、色々な民族楽器を試したり、演奏したりの後、高い天井から床までの、大きなイメルダ夫人の若い頃の肖像画のある豪華な応接室でお茶の接待を受けながら、一刻も早くホテルに帰りたくて、若い頃日本に留学された時のカシラグ女史の思い出話も上の空という有様でした。



エの上日本恐怖(土地)内路(白)もて(土)基街入(も)て(日)下中(も)得(す)22(日)の(可)も(得)す。は(キ)市(中)の(可)も(得)す。タ(ガ)後(ん)っ(て)いた(可)も(得)す。ボ(ス)氏(午)の(に)は(可)も(得)す。ん(モ)た(が)は(可)も(得)す。ア(キ)ノ(も)の(可)も(得)す。ア(キ)ノ(も)の(可)も(得)す。ア(キ)ノ(も)の(可)も(得)す。

指定されていて、次々と家族達がホテルに心配そうな表情で詰めかけているところへリムジンバスに沢山の琴を積んで到着した振袖、訪問着等と和服の盛装姿の私達は何んとも場違いな感じを与えたと思えます。この一時間後、こんな非常事態なのにホテル側の要請で二百席程のホールでコンサートを致しましたが、さすがに日本人のお客様はほとんどいなくなつたようです。

時帰れるか解からないのとこの時でしたが、私達のメンバーの中には、タイではクーデター、インドでは戒厳令を体験している人が数人いたりして皆落着いていて、日本から心配して次々電話をかけて来る家族の人達をいららさせたつもりでした。

多勢の人々に心配をかけてしまいました。私個人としてはあまり危険は感じず、留守をしている三人の子供のうち、長男が大学、次女が高校と受験の真最中なので、若しもの場合の時の支払い方法などを細々と長女に指示、最悪の場合三人で力を合わせて生きてゆきなさいなどと悲壮な様子も見せたりして出かけたのですが、子供達も小さい頃から母親としてよりも父親のような関係で接して来ているので、全く平気で、次女などは、お母さんも長ければ面白かつたに残念ね、などと強がっておりました。

第64期卒業30周年大会報告

64回 風間 士郎

一、右大会は、昭和61年8月16日小野塚前教頭先生始め恩師18名のご出席を得て、イタリヤ軒で総勢150名で開催された。

高校卒業から30年という時期は、人生のいわば最盛期である。社会の中核としてそれぞれの分野で、忙しく働いている。

全国で活躍する64回生がこの記念大会にかくも多く結集したのは、青春の仲間こそ何物にも代え難く貴重なものだから考えたからに違いない。

二、大会当日は朝から好天に



A組

恵まれ、35名のゴルフ愛好者は紫雲ゴルフ場で爽快な汗を流した。

午後6時半からの式典は厳粛に行われた。引き続きの宴会に入るや、一気に盛り上がり刻のたつを忘れ、皆心ゆくまで歓談し、久し振りに校歌や応援歌を放吟した。全員が幸せに満ちた宴であった。

約48年の人生のなかで、新潟高校生活の3年間は一瞬のうちに過ぎたように思う。この大会で恩師や仲間と再会して心の奥に刻まれていた青山健児魂が一気に



B組

胸に突き上げてきた。

三、この大会を記念して当日のカラー写真スナップや卒業生各自の近況や住所録を記載した記念誌を発刊した。恩師や参加できなかった仲間からも大いに喜ばれた。

四、この大会のため、小田嶋寿一実行委員長以下幹事17名は、前年度から月一回の大会準備会を持ってきた。

渡辺团长先生から「64回卒は、当時校舎が焼けて二部授業でタンネグの奴ばかりと思っていたが、この大会はすばらしかったのを見直した」とのお褒めの言葉をいただいた。

一同、更に40、50周年記念大会に向け、ともに働き、ともに社会奉仕をし、また



C組

大いに遊んで豊かに生きて再会することを誓い合って散会した。

20周年の74回

74回 藤田 一己

去る8月16日(土)5時半より「74回卒業20周年同期会」が、



D組

イタリヤ軒にて盛大に行なわれました。会場では、卒業以来の久しい諸先生や友人達と顔を見合わせて歓声があがるなど、20年という歳月を飛び越えて、高校時代に戻ったような楽しいひとときでした。

四十路を前に各方面の第一線で活躍している年代のため、海外出張を始め仕事の都合などで、惜しくも出席できない人達からのメッセージも印刷して配布され、話題は仕事のこと、子供のこと……と尽きないようです。

宴が盛り上がり、応援歌など「青山」を熱唱し、最後には、クラスごとに先生を囲んで記念写真を撮り散会いたしました。



E組

その後も夜ふけまで、古町のあちこちで、昔話に花が咲いた様です。

(藤田一己記)



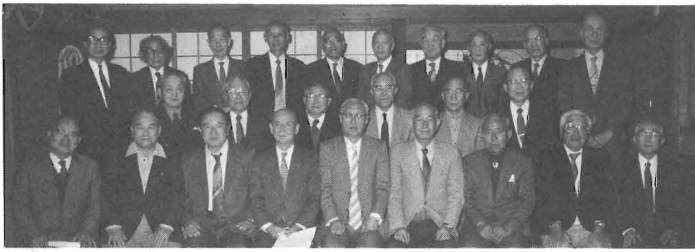
F組



G組

42回生同期会だより

毎年11月第1土曜日と定められた同期会。今年も11月8日、同期篠田兄の旅館で開催。東京、片山彦三、岐阜、福島昌俊両兄が50年振りの再会。先ず本年度逝去された玉木深根、鈴木一男、亀山保、武内小熊、幸吉の諸兄に黙祷。案内111、欠席回答63、未回答23と、県外5名参加の賑わい



紅葉の奥胎内で 48期会 48回 大谷一男

我が四十八期会は恒例により11月第1土曜日1日〜2日と、紅葉の始つた黒川村の胎内パークホテルで開催された。手廻しよく6月から会員に予告し、事あるごとに勧誘につとめ、30名以上の出席を予想していたが、たまたま連休となつたため行事に重なる人多く、22名にとどまつたことは残念であった。やや交通の便の悪い場所だが、ホテルのバスが新潟駅まで迎えに来てくれ、支障なく



大橋幹事長のあいさつ、物の中に「玲瓏の天迎ぐとき」まで飲み且つ語り、古希の齢を忘れる。明年は湯沢と決定。定期に開宴することが出来た。国民宿舎とはいえ、外観・設備・接客などホテル並で、若者に人気のあるものなづけられた。大橋幹事長のあいさつ、物

の名利ードで次々と歌われ、白髪の老年も忽ち45年前の紅顔の美少年に帰つた。近藤君の中メで一応閉会はしたが、各室に戻つても懐故談に名残りは尽きず、又一卓を囲む組もあり。翌朝も薄日の洩れるまままあの天候、朝食のあと自由解散となつたが、10数人は来たついでと5台のマイカーを連ねて奥胎内の紅葉狩りとして日曜ながら時間が早いので余り混雑せず、眺望の良い所に車を止めること数回、少し早いが見事な景観を満喫したことであつた。



来年度はまた多数の諸君のご参加をお願い申し上げます。

青山同窓会収支決算書・収支予算書

収入の部	60年度決算額(円)		61年度予算額(円)	
	60年4月1日 自 61年3月31日	61年4月1日 自 62年3月31日	60年4月1日 自 61年3月31日	61年4月1日 自 62年3月31日
繰越金	291,892	339,000		
入会金	1,111,600	1,080,000		
会費	3,506,000	3,200,000		
雑収入	17,335	10,000		
合計	4,926,827	4,689,000		

支出の部	60年度決算額(円)		61年度予算額(円)	
	60年4月1日 自 61年3月31日	61年4月1日 自 62年3月31日	60年4月1日 自 61年3月31日	61年4月1日 自 62年3月31日
人件費	2,497,937	2,500,000		
通信費	591,120	600,000		
印刷費	60,500	100,000		
慶弔費	41,920	70,000		
退職積立金	50,000	50,000		
雑費	6,490	9,000		
会報印刷費	370,000	370,000		
会議費	255,064	300,000		
卒業生記念品代	156,800	160,000		
青陵祭補助	80,000	80,000		
通信制補助	222,500	220,000		
予備費	195,000	230,000		
合計	4,527,331	4,689,000		

収支差引残高 399,496円 (次年度繰越)
昭和61年6月3日
上記の通り相違ないことを確認いたします。
監事 福山 健
監事 澤山 巖



山親し 人また親し 濃紅葉 佐藤 俊夫(梧林)

来年度はまた多数の諸君のご参加をお願い申し上げます。

青山渋柿会例会

昭和49年秋、恩師原田三三先生が山口県から新潟へ遊びにお出でになつた時、先生が寄宿舎の舎監をされていた関係で、当時舎生だつた方々に呼びかけ参集したのが、復活のゴルフチームに便乗して、どうだという話になつた。小田嶋実行委員長、鈴木副会長、上村副会長もいじやないかとお話、早速総会当日の7月18日に第一回を行うこととなつた。これはあくまで有志の会として、会からの補助も、予算もなく、PRも不足、それでも各期幹事の尽力で20名の参加者。晴天の下ダブルペリアで競い、優勝は63回山本弘司氏。表彰式で、年2回春は7月秋は9月行う事を決め、9月11日に第二回目を開催、優勝の63回渡辺昌夫氏には鈴木氏から氏寄贈の優勝杯が手渡された。今後の開催問合せは事務局へ。

有志による青山ゴルフ会
鈴木杯コンペのこと
総会をより楽しくする為に
と、実行委員会で検討。最近のゴルフブームに便乗して、

画人笠原軌と

その父漁村(十)

60回 小林智明

新潟中学校五年生時代の学生生活の一端を、それから三年後の東京美術学校時代に回想した「故園の画趣」という軌の文からうかがってみよう。母校青山の昔がどんなものであったか、現在の在校生諸君には想像もつかないような興味深い記事である。

回顧すれば早や三年の昔となった。朝は霞こめたる松原をたどり、夕は桃色にそめる川ぞひの連峯を顧みつつ日毎通いたりし母校の面影、春は裏の砂山にすみれが咲く、その芝生に横たわりてはるかに藍色に澄める海上の白帆を数え、夏は門外の小川に小柳の緑涼しく、秋は松原遠くたどり入り、草花の陰に憩いて、梢に鳥の美音を聞き、雪はれし冬の朝は、松に続ける関屋の丘に朝日まばゆく照りそえるを、またなき絶景と眺めたこともあった。

今の境遇に居て昔を懐いば、物皆美しく楽しげ感ぜられる。たゞ折々は裏の菜莢を蹂躪して、可憐な雲雀の巣を荒し、農夫の眼を掠めて畑の芋を盗み、豚小屋に豚の子を釣って怒鳴られたりして人並に悪戯もして居た。……講堂の後にある二本の丸葉柳が恐ろしく伸びて、瑠璃色の空を凌ぎ、真夏の光に照らされて一葉／＼銀色と輝く美しさは、三とせぶりなる今日を始めて自然の神の啓示を得たる心地がした。緑の陰濃まやかなる樹下に坐して黙想すると、すぐ前に一株の桃の木が有る、春になると紅の花の数々のばかりを粧うのが、見つけ次第に無情な生徒に折り取られ、枝は雑草の纏繞するにまかせて、荒れたる一団の草叢となつて居る。あ、あの陰で友と芸術を語り、理想を談じたは三とせ昔の春であった。友は今遠く太平洋の彼岸に、大陸の何処を放浪して居ること

やら、回想はそれからそれへと馳せてゆく。校門の両壁をなす砂丘の上に、今し斜めに光がさすと、疎らな赤松の幹が黄く光り、地上の草の橙色の上に影長く曳く、見て居る間に光が次第に薄れて行くこと、四辺は何となく静かな心地がする。小使が門を閉める音がするので立ち上つたが、掃り路に顧る川ぞひの連峯に棚引く夕雲と、紺色なせる関屋の松並木に、更に面興の身にしむを覚へた。……睡を催す様な数学の時間には、教室の窓から近く菜種の花続き、雲雀の小さい影も見えれば、遠くは堤を越えて白帆の影一つ二つ、疎な人家の傍には、網を乾す人、河柳が風に揺れて葉がきらきらと白く光るのなどが面白く見える。無心に眺め入つて、先生に叱られたことも幾度かあった。待ち設けた昼の十分は弁当を持って校門を飛び出し、此の美はしい景色の前に、心ゆくばかり空想しながら飯を食ふのであった。校門を出て、右一町許に関屋小学校がある。門前の柳には若芽の色軟かく、其向うには藁屋が三つ四つ、其前に梅の木が一本花が真盛で、鶏の二三羽が餌を探して居たが、思い出した様に一声高く時をつくる。花も一ひら二ひら散つたらしい春の真昼はげにも静かな暢けきものであった。色鉛筆などとり出して写生をして居ると、いつの間にか村童二人襦袢一枚で、手には一人が桶、一人が箆を持って後に立って居た。桶の中には小さな魚が白い腹を横にして苦しげな息をして居る。何処でとつたかときくと「あの柳の影」と指す。……

新発田中に17対5、長岡中には6対2、7対6と連勝したが、高田中には3対8と敗退した。当時の部報の、射新発田中戦の反省の文が面白い。「……我は結果に於て勝たるなり。然れども三度振(三振のこと)前後十というに至りては、吾人勝利を高言するを恥づ。夫れ三度振は斯技の最陋とする処、攻撃の「Swatwork」なることは人の知る処なり。而して我が九子(九人)の内、中田と小柳を除きては皆是を演ず、敵の投球カーブか、あらず、単に通常の戦のみ、あ、やんぬる哉。希くは吾が済々たる多士よく攻撃の精を致せ」と、九人のうち七人が十個の三振を喫したことにハッパをかけている。因みにその野球部創立時のナインをここに紹介すると、一番は俊敏SSSの中野佐越郎(村松)、二番2B小平弘造、三番3B柄沢知新(白山浦)、四番RF好守好打の伊随又吉(古町二)、五番は打の重鎮1B小山九一、六番CF小野高門(向川)、七番LF渡辺賢二(古町七)、八番P剛球の中田富男(旭町通)、九番Cチームの要、小柳篤二という顔ぶれで、中野、小山、小柳の三人が五年生で、他の六人は三年生であった。撃刺部も長岡中、新潟商と対戦して圧勝した。昨年の大日本武徳会主催の全国大会に優勝した伊藤精司、今湊良行は卒業したが、前記した伊藤平治、大橋儀右エ門、円山順蔵、鷲尾正吾、佐藤莊一郎、薄田長太郎や、斎藤庫四郎(東堀七)、高橋甚七郎(岩船郡)らの猛者が居て、県下中等学校に最強の技量を誇つていた。

部の活動とは別に、全校生徒による発火演習もまた頻繁に行われ、十月廿五日夜には寄居浜を中心に夜戦を想定した夜中発火演習、十一月廿一日には亀田、新津方面を舞台にして二日間の大がかりな発火演習が行われ、近づきつつある日露の戦雲を誰れもが感じていた。

校友会誌「遊方会雑誌」には、母校を卒業して進学した先輩が、その学校の様子を報じていろいろな投稿や通信を寄せて来る。上級生はこれら先輩の勧誘やすすめを進学の重要な手がかりにした。今春中国の東亜同文書院に留学した桑野締三は、「滬上雑記」という上海の紹介記事と、「学友諸君と題して東亜同文書院の詳細を報じて来た。一高へ進んだ同じ九回生の青木得三からは「東都武香ヶ陵より」、北大農学部へ進んだ七回生の逢坂信吾(女池)からは「札幌だより」、東京帝大に居る五回生の桜井政隆(村松)からは「謹啓、會員諸君如何御起居被遊候や時正に秋気肅殺、大丈夫講学の好時期に候へば、諸君の勵精亦一段の孜々を加へしならんと存居候、僕、昨秋より東京帝国大学文科大に入り、独乙文学を専攻すとブレンドン致居候が、今其の学ぶ所の科目を列記して通信に代へ聊か諸君の参考供せんと存候。僕が独乙文学科第二年として聴講しつつある者のみを記せん先に先づ……」の書き出しで、東洋哲学史、羅甸語、仏蘭西語、英文学、独乙文学、声音楽、西洋文学史、美術史と報じ来た英文学のところに、興味を惹く記事が見えるので紹介してみよう。

「英文学(毎週三時間)は帰化人小泉八雲氏の担当にして、今秋既に「英詩に於ける花」の研究を終申候、氏の流暢にして典雅なる英語は直ちに一種の美文をなし、聴者の樂む所に候、氏の講演は頗るのんきにして、独乙流の陣立堂々たる観は無之候へども、詩文を觀賞せしむるには大いに適當なる法と存居候」と見える。また「独乙文学(毎週九時間)は独乙人フロレンツ博士の担当にして、内六時間は独乙文学科一、二、三年学生の占有に属し候、今年年は詩人シルレルの研究にして……他の二時間はギョーテの『ファウスト』劇の講義にして……」とある。

後年ゲーテの『ファウスト』の全訳を完成して独乙文学の紹介に多大の貢献をした桜井天壇の若き日の通信文である。天壇は明治十二年生まれ、明治卅一年に新潟中学を卒業した。一番で入学して二番で卒業したという。一高から帝大に進み、恩賜の銀時計を拝領して卒業した秀才である。中学同級に岡田正平がいた。夫人は二年後輩の会津八一の妹庸たかである。帝大在学中から「帝国文学」に感んじて投稿して文名を馳せた。乃木希典院長の学習院に教え、教え子に志賀直哉、武者小路実篤らがいた。更に名古屋の八高の教授となった。(次号につづく)

昭和61年度青山同窓会費納入者

(4月より12月末日まで納入済のもの)
未納の方は3月までに納入下さるようお願い致します。
1口1,000円できるだけ2口以上をお願いします。

(郵便振替口座 新潟5-4455 青山同窓会)
(第四銀行学校町支店口座 0275210 青山同窓会)

Table listing donors and their amounts. Columns include names (e.g., 義盛内雄, 信久和行), amounts (e.g., 1000, 500), and addresses (e.g., 新潟市, 新潟県). The list is organized by the amount donated, with larger amounts appearing first.

